

環境報告書

2019



九州大学病院別府病院

1. 目 次

1.	目次	2
2.	トップメッセージ	3
3.	別府病院概要	4～5
4.	環境安全教育	6
5.	市民公開講座及び社会連係事業	7～10
6.	環境活動	11
7.	エネルギー、廃棄物処理	12～15



2. トップメッセージ

九州大学病院別府病院では、内科、外科、整形外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科の6診療科を擁し、地域の皆様に最高水準の医療を提供できるよう、日々診療と研究に勤しんでいるところでございます。昨今は、様々な地域社会において、環境問題が取り沙汰されており、各診療科の医療現場におきましても、環境問題への認識が重要化してきております。世界的に見ましても、人類社会における様々な産業活動による持続的な炭酸ガス排出に伴い地球温暖化が進行していると言われていたり、化学物質による環境汚染など、環境問題は、国際的社会問題であり、医療産業においても広い視野を持って取り組むべき課題であります。医療の分野では、医療機器の運用は生命維持の観点から安易に節約することが困難でありますし、感染拡大防止のために再生利用されない消耗品も多く存在します。また、厳重管理を要する放射性物質や麻薬性医薬品を扱うといった医療産業ならではの特殊な状況も存在します。一方では、医学の急進的進歩により、先進医療の現場への導入は加速しております。このようななか、未曾有の加速度を持って超高齢社会に突入した我が国において、より多くの高齢者の方々に適切な医療を提供することは大学病院において、今後ますます重要性を増すことは疑いない所です。このような患者数増大、患者高齢化、先進医療の導入拡大においては、医療の量的拡大かつ質的上昇の両方を同時進行せねばならず、医療機器の適正な運用と医療廃棄物の適正な管理が、大学病院において、ますます重要課題となっております。私どもは、「これまでと同様に」ではなく、こういった急進的に変容して行く医療環境、すなわち高度化する医療機器運用システム、膨大化する医療廃棄物管理、先進医療導入に遅滞なく対応するべく、いわば医療環境保全新時代に突入したという認識をもって未来志向の医療環境保全に努めてまいりたいと考えております。



九州大学病院別府病院長
堀内 孝彦（ほりうち たかひこ）

3. 九州大学病院別府病院概要

名 称 九州大学病院別府病院

理 念 患者さんに満足され、医療人も満足する医療の実現を目指します。

基本方針 ◇広域医療圏拠点としての連係体制の構築
◇高度先進医療を支える医学研究の推進
◇全人的医療を実践する医療人の養成
◇小児から高齢者まで包括する移行期医療の充実
◇国際化の推進

所在地 〒874-0838 大分県別府市大字鶴見字鶴見原4546
TEL 0977-27-1600 (代表)
FAX 0977-27-1605
URL <http://www.beppu.hosp.kyushu-u.ac.jp/>

病床数 一般 104床 療養 36床

沿革

設 立	1931年(昭和6年)	10月	温泉治療学研究所附属病院
改組・統合	1982年(昭和57年)	4月	生体防御医学研究所附属病院
統 合	2003年(平成15年)	10月	九州大学病院別府先進医療センター
統 合	2011年(平成23年)	4月	九州大学病院別府病院

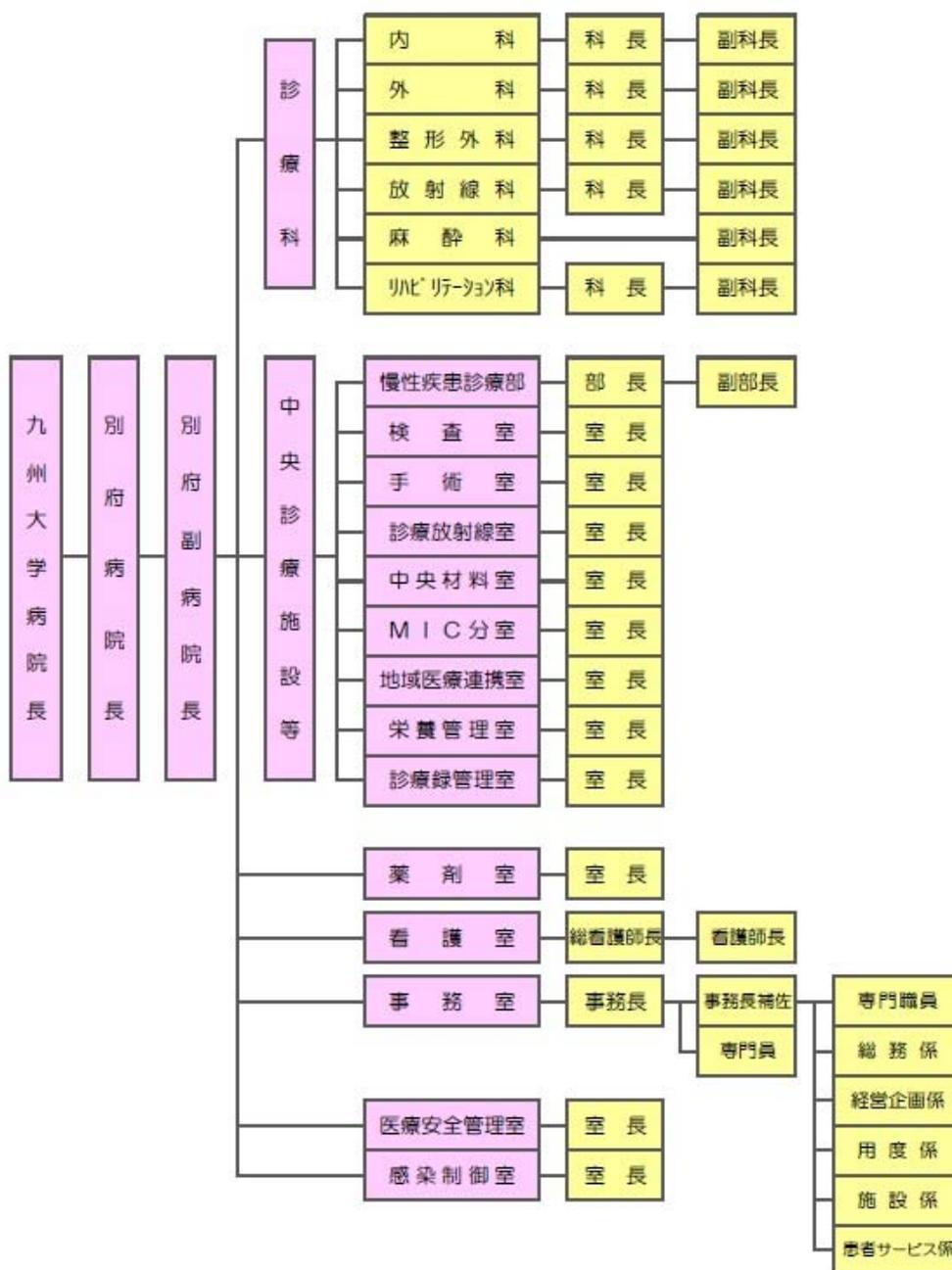
構成員 (平成31年4月現在)

教 員	21人
医員・研修医	9人
医療技術関係職員	22人
薬剤関係職員	6人
看護関係職員	87人
事務関係職員	34人
その他職員	14人
合 計	190人

別府病院の組織図

平成31年度4月現在

組織



4. 環境安全教育

平成31年4月1日（月）に、九州大学病院からのネット中継を使い、転任者及び新規採用者に「新採用者合同研修」等に基づき、医師・看護師・職員が講師となり次のような安全教育を実施しました。

【講義内容】

1. 病院概要
2. 就業規則等について
3. 防災について
4. 薬剤とオーダーの運用について
5. 九大病院の栄養管理について
6. 診療放射線室について

平成31年度
新採用者合同オリエンテーション



九州大学病院別府病院

4. 市民公開講座及び社会関係事業

(1) 市民公開講座

市民公開講座は、別府市民の皆さんに医療・医学についての情報伝達することにより、病気や健康に対する意識向上を図り、地域に対しての予防医学的な貢献に結びつけたいとの発想から、平成17年度から当院の医療従事スタッフが講演してまいりました。平成25年度より趣向を変え、年に1回程度当院医療従事スタッフの講演に加え、学外の有識者を招いて講演を行う形式で取り組んでいます。

九州大学病院別府病院
第5回 **市民公開講座**

日時 **平成29年10月21日【土】** 14:00～16:00 **入場無料**

場所 **別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza(ビーコンプラザ)「中会議室」**

定員 **200名(先着)**
(お申込・お問合せは下記連絡先まで)

別府病院診療科から最新情報の提供 14:00～15:00
「肺節骨柱狭窄症～病気を知って上手に付き合おう～」
整形外科 助教 梅角清志
「内科診療の現状とこれから」 内科 准教授 前田啓樹
「がん診療に活かしたい新しい技術と地域システムの構築」 外科 教授 三森功志
「最近の放射線治療」 放射線科 助教 松本圭司
「温泉プール・気浴・身体バランス」 慢性疾患診療部 主任理学療法士 工藤義弘

特別講演 15:00～16:00
座長：堀院長 堀 和二 副院長
「**うるさいびきが止まる時**」
演者：九州大学病院腫瘍呼吸センター センター長 **安藤 眞一 特任教授**

主催：九州大学病院別府病院
申込先(総務課) Tel. 0977-27-1600 Fax. 0977-27-1605 Email. sbmkanri@jimu.kyushu-u.ac.jp

平成29年度

第5回 九州大学病院別府病院 市民公開講座
(14:00～16:00)

特別講演
うるさいびきが止まる時
座長：堀院長 堀 和二 副院長

講師 九州大学病院腫瘍呼吸センター センター長 **安藤 眞一 特任教授**

日時 **平成 29年 10月 21日(土)** 15:00～16:00

場所 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza(ビーコンプラザ)「中会議室」(別府市山の字東1-2番1号)

定員 200名(先着)

参加費 無料(お申込・お問合せは下記連絡先まで)

別府病院診療科から最新情報の提供 14:00～15:00
「肺節骨柱狭窄症～病気を知って上手に付き合おう～」
整形外科 助教 梅角清志
「内科診療の現状とこれから」 内科 准教授 前田啓樹
「がん診療に活かしたい新しい技術と地域システムの構築」 外科 教授 三森功志
「最近の放射線治療」 放射線科 助教 松本圭司
「温泉プール・気浴・身体バランス」 慢性疾患診療部 主任理学療法士 工藤 義弘

特別講演 15:00～16:00
座長：堀院長 堀 和二 副院長
「**うるさいびきが止まる時**」
演者：九州大学病院腫瘍呼吸センター センター長 **安藤 眞一 特任教授**

主催：九州大学病院別府病院
申込先(総務課) Tel. 0977-27-1600 Fax. 0977-27-1605 Email. sbmkanri@jimu.kyushu-u.ac.jp

平成29年度

九州大学病院別府病院
市民公開講座

テーマ/「**がん治療最前線**」

司会：九州大学病院別府病院 副院長 放射線科 准教授 平川 賢彰

講演：
「からだにもこころにもやさしい外科手術の最新の話題」 外科 助教 大澤 謙
「こわがらないで放射線！がん治療に有効です！」 放射線科 准教授 平川 賢彰
「こまでできる！遺伝子検査の最新情報～たがやかかりやすい癌や病後に起こる病気を予測しよう～」 外科 教授 三森 功志

■ 日 時/ **10月20日(土)** 14:00～15:30 (受付 13:30～)

■ 場 所/ 平佐ホテル リバーサイド (宇佐市大学別府6)

■ 定 員/ 120名(事前申込み不要)

■ 参加費/ 無料

問合せ先 九州大学病院別府病院総務課
Tel.0977-27-1600 Fax:0977-27-1605 e-mail:sbmkanri@jimu.kyushu-u.ac.jp

平成30年度

九州大学病院別府病院
市民公開講座

テーマ/「**健康長寿のための最新医療：高齢者に多い手足の痛みと痺れ**」

司会：九州大学病院別府病院 副院長 整形外科 准教授 堀「台藤三

講演：
「夢中に足が痺れてはやく休む。それって血管狭窄かも。」 循環-呼吸-老年病内科 診療部長 堀台 聖武
「手足の関節があちこち痛むときどうするか？最新情報の」 血液-血液-放射線科 助教 木本 孝孝
「肺節骨柱狭窄症の原因と治療～たがやかかりやすい癌や病後に起こる病気を予測しよう～」 整形外科 准教授 堀「台藤三

■ 日 時/ **10月21日(日)** 14:00～15:30 (受付 13:30～)

■ 場 所/ 湯布院コミュニティセンター (由布市飯所 湯布院庁舎横)

■ 定 員/ 100名(事前申込み不要)

■ 参加費/ 無料

■ 主催/九州大学病院別府病院 ■ 後援/由布市
(問合せ先)九州大学病院別府病院総務課
Tel:0977-27-1600 Fax:0977-27-1605 e-mail:sbmkanri@jimu.kyushu-u.ac.jp

平成30年度

(2) 社会関係事業

別府市が進める「健康にぎわい拠点」として別府病院敷地内にウォーキングコースを設定しています。普段から多くの一般の方がご利用していますが、今回も市役所と協力して『健康にぎわいイベント』を開催致しました。

九州大学病院別府病院「健康にぎわいイベント」第2弾！！

～温研を探検～

日時 10月27日(土)
9時～12時
8時30分～受付開始※受付場所：病院ロタリー

場所 九州大学病院別府病院

第1部：講演
「芯からほぐす体感ストレッチ」講師：生野 有一 理学療法士

第2部：病院探検
めったに行けない病院の内部や広大な森の中を説明を聞きながら散策！

希望者には、日ごろ一般開放されていない温泉に入浴できます！
当日は別府八湯温泉道のスタンプも1日限定で登場！
(要事前予約) ※希望者多数の場合は抽選になる場合もあります。
※入浴時、石鹸等は使用できません。
※湯船の広さは3～4人が入る程度で順番に入っていくためつかるだけになります。

参加無料・事前申込が必要です

※当日は動きやすい服装で、水分・タオルをお持ちください。
※雨天時、大雨等で中止の場合は前日17時までに別府市民HP、フェイスブックでお知らせします。

【申し込み・問合せ先】 別府市福祉政策課
TEL：21-1003
FAX：22-2366

【アクセス】 駐車場有！
公共交通機関ご利用の場合は、別府駅西口3のりばから亀の井バスで約10分
九大別府病院で下車（12月のバス時刻表参照）



正門脇に設置している看板

別府市との共催による「健康にぎわいイベント」実施風景（別府病院敷地内）



病院敷地内を探索し、めったに行けない病院内や、森の中を歩いて病院の歴史などを知って頂きました。

病 院 内 探 索

病院内の温泉にご案内をして実際に触れてもらい、希望者の方には温泉に入ってもらいました。



座学講座では、『芯からほぐす体感ストレッチ』というお題で、理学療法士の先生に講演を開いて頂きました。

座 学 講 習 会



(3) 桜のライトアップ・花壇の設置

別府病院には桜が多く、シーズンには患者さん・別府病院関係者及び周辺住民の心を癒してくれています。本年も3月中旬から4月上旬の夜間（18：00～21：00）に病棟南側と正門通路の桜のライトアップを行いました。入院患者さんを始め看護師・医師・職員にも好評でした。また、駐車場横に花壇を設置し、フジバカマを植樹しています。今秋にもアサギマダラが飛来することを願っています。



6. 環境活動

近年、エネルギー量が増加していた別府病院に省エネ診断を実施し、24時間点灯の照明器具のLED化及び蒸気バルブの保温工事を実施した。



① ナースステーション蛍光灯（改修前）



① ナースステーションLED（改修後）



② 保温工事（改修前）



② 保温工事（改修後）

■ ① LED効果： （年間比較）

①更新前の電力量 39,900 kWh

①更新後の電力量 12,000 kWh

②更新前の電力料+ランプ費 59+13万円

②更新後の電力料+ランプ費 18万円

③更新前の照度（屋内） 440 Lx

③更新後の照度（屋内） 770 Lx

削減電力量

▲27,900kWh

▲70%

削減料金
（ランプ交換費含む）

▲54万円/年

照度アップ

（必要照度600）

1.75倍

※注

・電力単価は14.7円（H30年8月）

・ランプ交換費はランプ寿命12000hとし10年間で7.3回交換、交換費用3.8千円/回とし、年間費用は13万円

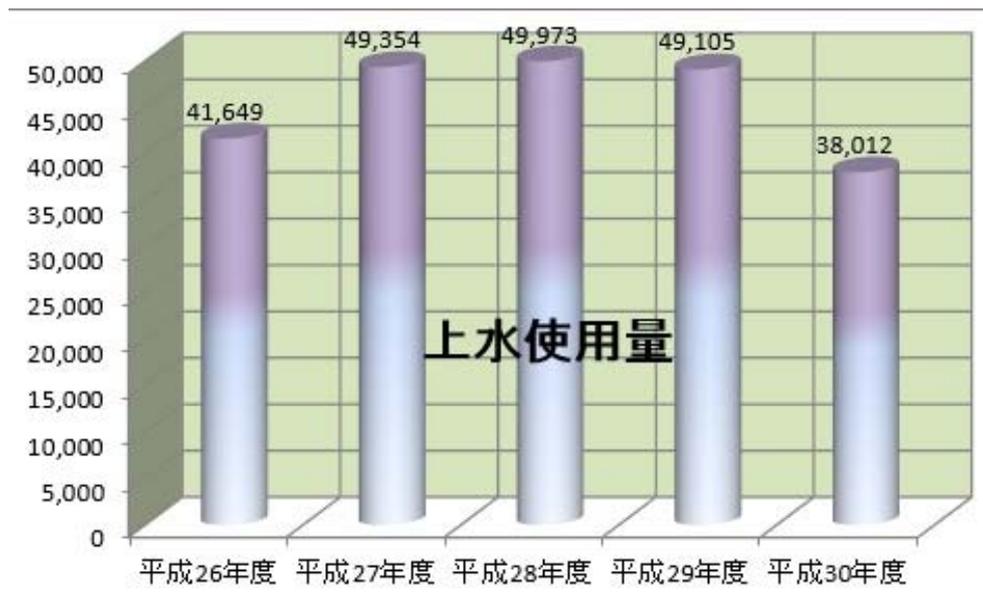
7. エネルギー、廃棄物処理

(1) エネルギー

別府病院でも、エネルギー管理を行うために下記の表を作成してエネルギーの管理資料としています。



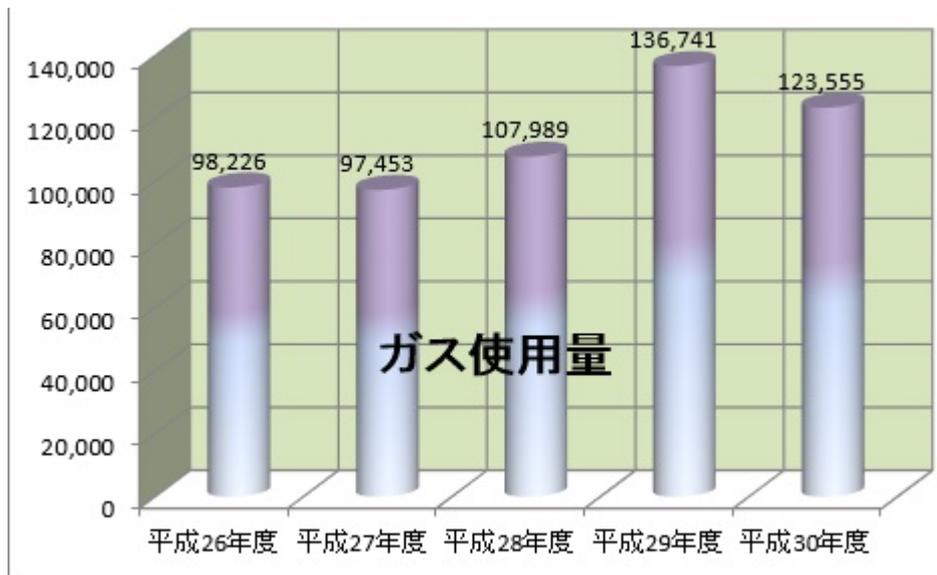
電気使用量 (kWh)



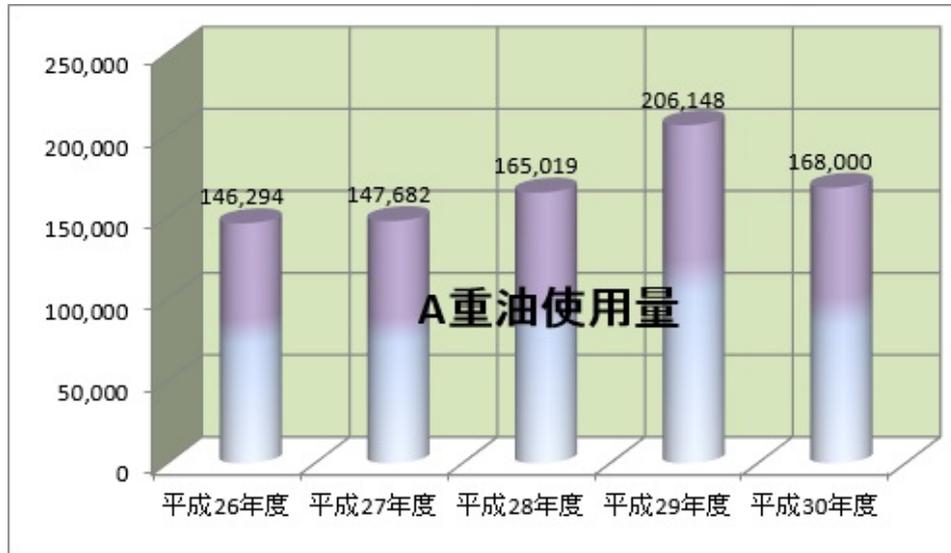
上水使用量(m3)



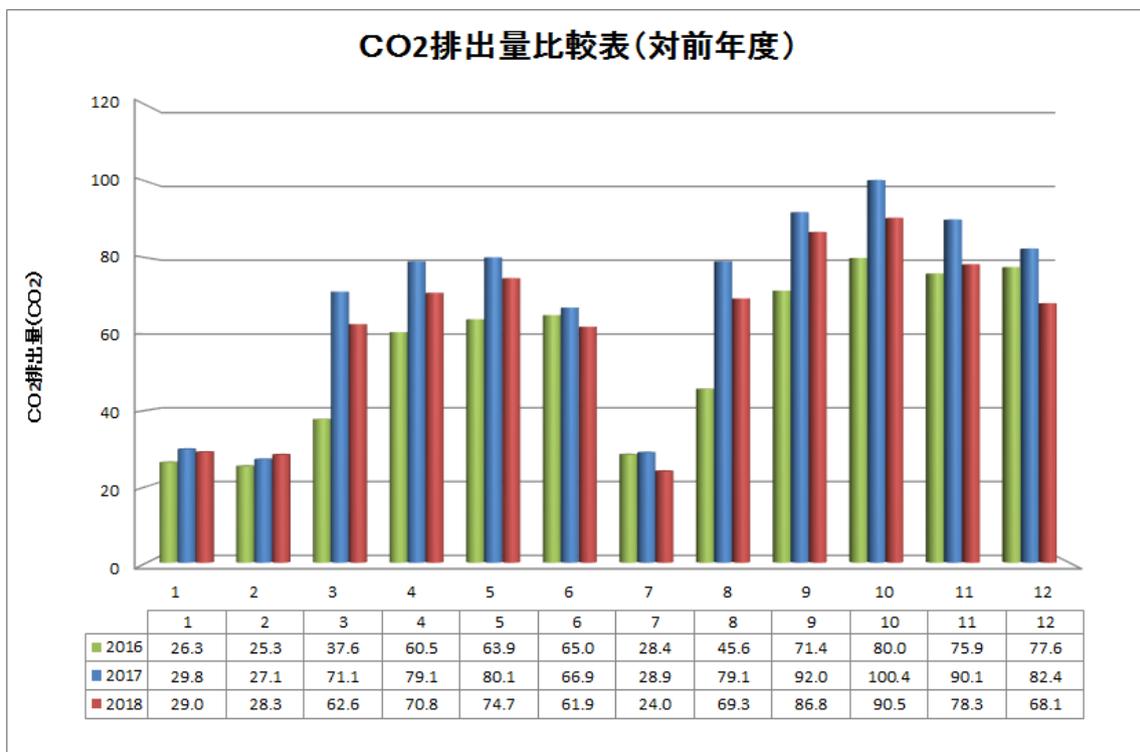
下水使用量(m3)



ガス使用量(m3)



A 重油使用量(L)



CO2 排出量比較表 (月別年度比較)

(2) 廃棄物処理（医療廃棄物）

別府病院では、医療廃棄物（感染性・非感染性）及び一般廃棄物（可燃・不燃）を分別して集荷しています。医療廃棄物については取り扱いについて注意する必要があります。医療で使用した針はさらに個別の専用容器に入れて廃棄しています



専用の分別容器に入れて廃棄を行っている。
左から可燃、非感染性
廃棄物、感染性廃棄物
×2



医療用で使用した廃棄
する針を入れる専用容
器



廃棄物置場においても
分別して集荷している
左から段ボール、感染性
医療廃棄物、非感染性医
療廃棄物、不燃物、可燃
物（医療廃棄物置場は常
時施錠しています）